答申書

（国土利用計画（南箕輪村計画））

南箕輪村むらづくり委員会

令和８年３月

令和８年３月 17 日

南箕輪村長　藤 城 栄 文　様

南箕輪村むらづくり委員会
会　長　足立　芳夫

国土利用計画（南箕輪村計画）に係る答申について

令和５年８月８日付け５地第 392 号で諮問されました「国土利用計画（南箕輪村計画）」について、以下のとおり答申いたします。

１．検討の経緯と結果

「国土利用計画（南箕輪村計画）」について、令和８年１月から２月にかけて「南箕輪村第６次総合計画基本構想」及び「南箕輪村第６次総合計画前期基本計画」との整合を図りながら検討を実施いたしました。

その検討結果は、添付資料のとおりです。

２．特記事項

第６次総合計画基本構想の土地利用構想にうたわれているとおり、村土は、村民にとって現在から将来にわたり限られた資源であるとともに、生活や生産活動の基盤として、なくてはならないものです。そのため、有効かつ適正な利用・管理をしながら、次の世代に引き継いでいかなければなりません。かけがえのない村土を荒廃させないよう、村土の適正な利用と管理に取り組むことが重要となってきています。

近年の深刻な気候変動に対しては、村土の防災・減災対策が重要だと考えます。また、農地など土地の担い手の減少による土地利用の管理水準の低下が懸念されていますが、無秩序な農地の宅地化を抑制するような政策が欲しいといった意見もありました。住宅地域・商業地域については、空き家、低未利用土地の活用を推進するため、道路インフラ整備等も含めて支援する必要があります。その支援策として、税制優遇や補助制度等を盛り込んでほしいという意見もありました。観光・レクリエーション・交流の拠点である大芝高原については、防災拠点としての機能を高める取組みが重要と考えます。工業用地については、デジタル技術の活用や脱炭素化に向けた取組みを進め、地域の特性をいかした土地利用の推進が重要です。また、北原工業団地においては、企業から拡張等の相談があった場合、村として支援を検討することも必要と考えます。

これらのことを踏まえ、計画の実施にあたっては、村土の管理への村民の参画を促す取組みを推進するとともに、村土利用をめぐる情勢の変化を見据えて必要に応じて計画を見直すことが重要と考えます。

むらづくり委員会開催の経過

開催日		内　容
第１回	令和８年１月 20 日	○国土利用計画（南箕輪村計画）の検討
第２回	令和８年２月 10 日	○国土利用計画（南箕輪村計画）の検討・まとめ

むらづくり委員名簿（第６期）

役職	氏　名	区推薦・村長指名・公募・専門委員
会長	足立　芳夫	北原区推薦
会長職務代理	松田　聖一	公　　募
	山岡　勉	久保区推薦
	長谷川　義隆	中込区推薦
	加藤　直樹	塩ノ井区推薦
	高木　武	北殿区推薦
	唐木　茂人	南殿区推薦
	酒井　きよみ	田畑区推薦
	清水　真知子	神子柴区推薦
	伊久間　美昭	沢尻区推薦
	伊澤　武善	南原区推薦
	北原　泰司	大芝区推薦
	清水　克俊	大泉区推薦
	田口　和弘	村長指名
	小椋　信子	村長指名
	菅家　美果	村長指名
	新村　典久	村長指名
	平野　幸代	村長指名
	千　菊夫	村長指名
	富岡　順子	村長指名
	橋場　麻衣子	村長指名
	入倉　眞佐子	村長指名
	宮坂　大樹	公　　募
	原　和彦	アルプス中央信用金庫 信大前支店長
	井口　千鶴	上伊那農業協同組合南箕輪支所長
	稲生　正徳	日本郵便南箕輪郵便局長
	吉川　つづり	伊那ケーブルテレビジョン
	三澤　聡	土地家屋調査士